

Let's move to MAEBASHI!

Let's move
まえばしに
移住しよう!
to MAEBASHI!

遊びに行きたい街から、
一生住みたい街へ。

観光やグルメ・自然など、前橋はさまざまな魅力があふれる街。
そんな前橋に魅了され、暮らし始めることを決めた人たち。
どんな想いを持って、どんな夢を持って、前橋に来たのか、
お話を聞いてみました。

多住コンシェルジュ

鈴木 正知さん

望月さん夫婦をはじめ、前橋に移住した
い人たちのサポートを応援。移住相談会
や現地見学などの活動を通じて前橋の魅
力を発信。

多住く

望月 誠さん
藍さん

2016年12月に埼玉県から前橋市富士
見町へ移住。自然の豊かさと暮らす人た
ちに魅了され、前橋への移住を決意。
誠さんは「とんとん広場」に勤務。

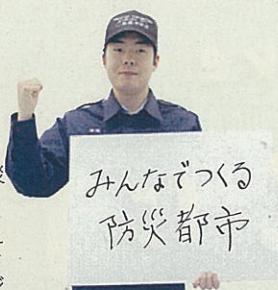
巻頭インタビュー

前橋市 望月さん夫婦

防災

地域と人のつながりで築く
防災都市「まえばし」！

自衛隊、消防、気象庁のOBなど、防災のエキスパートに「防災アドバイザー」として、地域の自主防災活動を支援してもらっています。万が一の時も防災ラジオによる情報発信、関東近県との相互応援協定など、未然の準備も万全です！



危機管理室
前橋 裕貴さん

- ママもパパも安心できる子育てしやすい「まえばし」
- 子ども医療費の無料化など、負担軽減策は充実しています。母子保健コーディネーターや保育コンシェルジュによる相談支援を行い、保育所や認定こども園の整備も進み、子育てしやすい街づくりに取り組んでいます。



前橋市は
子育て支援体制が
充実！

子育て支援課
設楽 理恵さん

医療

医療体制が充実の「まえばし」
市民の健康をバックアップ

21の病院をはじめ、341の医科診療所・199の歯科診療所と医療機関が充実。夜間や日曜・祝日の急な病気・ケガにも対応できるよう、設備やお医者さんの充実も図っています。もしもの時も安心して暮らせる街を目指します。



保健総務課
長井 小雪さん

健康医療都市！
前橋



住みたい街 ^{イコール} まえばし
になる

6つの理由



教育

子どもも大人も一緒に学び
成長できる街「まえばし」

子どもが元気に育つ街づくりを目指し、教育環境を充実。ICTを活用した教育や「地域寺子屋」など、新しい取り組みを行っています。また、子育て中の親御さんのコミュニケーションの場を提供し、共に学び成長する親子を応援します！



学校教育課
茂木 栄一さん

「まえばし」は食の宝庫
おいしい食事が元気の源！

気温差が大きく、四季の変化に富んだ前橋市では、多くの農産物が収穫されています。さらに豚肉など畜産も盛ん！おいしいだけでなく、「赤城の恵ブランド」認証で、安全・安心の地産地消に取り組んでいます。



農林課
多胡 真祐さん

食・農業

前橋市
未来の芽創造課

前橋市大手町2丁目12番1号
027-898-6513

「まえばし」への移住のこと、
何でもご相談ください！！

めぶく ○ 前橋市

前橋 移住

検索

未来の芽創造課
鎌田 基喜さん（右）
入内島 越さん（左）



まえばし移住コンシェルジュ通信



移住コンシェルジュ
鈴木正知さん

自身も23年前に前橋に移住。自治会など地域活動に精力的に取り組み、今では市内23行政区の地域づくり協議会で構成される「前橋地域づくり連絡会」の委員長として活躍中。そのキャリアを活かし、移住コンシェルジュとして移住希望者のサポートを行う。

「移住という人生の大きな選択をするときに、安心して夢への一步を踏み出せるよう、応援する人・地域が必要。」そう考えた鈴木さんの取り組む活動が、前橋の各地域での交流の場づくり、人と人のコミュニケーションづくりです。移住をしたい人の夢を応援する「応援団」を作ることが、移住コンシェルジュの仕事であり、鈴木さんの大きな夢です。

「移住して、何をしたいか。
その夢の応援団長です。」

移住コンシェルジュ鈴木さんと 夢を共有する人々

前橋は誰でも主役になれる街 主役に必要な脇役が揃う街

「私も東京からリターンで戻ってきた移住経験者です。前橋は色々な魅力と人があふれる街なので、その魅力と人を繋げて、移住者の夢を応援したいと思います。前橋の農産物を使って夢を実現したい人を応援したいです。」

料理家・
キッチンスタジオ KANAFULL 代表
金澤 亜希子さん



人の温かみ、人とのつながり、 それを感じられるのが前橋

「まだ前橋に来たばかりですが、ずっと住みたい！と思っています。前橋の風景、ゆっくりとした時間の流れと、人との会話の心地良さ。そんな前橋の良さを、同世代の若い移住希望の人伝えたいですね。」

2017年から前橋に移住。
遠藤 千尋さん

鈴木さんとは
移住相談会で会いました。
1聞くと10返ってくるので、
移住する人の安心感につながります。



県外の移住希望者に 前橋の魅力を発信

県外で開催される、移住相談会で移住希望者と懇談。ただ街の魅力を伝えるだけでなく、何をしたいか聞き届けることも重要な役目。



前橋を知りたい人と 住んでる人をつなぐ

空き家の紹介や、イベントへの参加声掛けなども積極的に行う。現地の人との交流を持ち、土地柄・人柄を知つてもらうことが目的。



移住者を受け入れる 地域・人を育てる

移住者の夢の実現に向けて、一緒に協力したい地域・人を育む。幅広い人脈を駆使し、移住者の独立・出発を手助けする。



前橋の人との出会いから見つけたふたりの人生のスタート地点

生活の環境を変えたい。

その想いから移住を考えました。

「彼女が仕事の面で無理をしていて、不規則な生活を変えてあげたいと思ったのが、移住を考えるきっかけでした。」

そう語るのは、夫の誠さん。當時、

お付き合いしていた妻の藍さんを気

遣っていた時、ふと目にしたテレビ

で、移住を考え始めたそう。

「テレビで若い人たちの移住が増え

てきているのを知つて……。このま

まの生活を続けるより、思い切つて

暮らす場所を変えたら?と考え、す

ぐに移住について調べ始めました。」

ここが望月さん夫婦の移住先探しのスタート。そして知ったのが、群馬の移住相談会。そこで出会ったのが、「前橋市移住コンシェルジュ」の鈴木さんでした。



色んな人と話をして欲しくて
ふたりを前橋に呼びました。

移住相談会に向かった誠さん。そこで「スノーボードやるの?」と声をかけたのが、鈴木さんでした。『服のブランドを見て、ピンと来た。『彼はボードやるな』って(笑)。彼の漠然とした想いを聞いて、パンフレットとかを見せるより、まず前橋に来て、前橋の人と話をしてもらうのが一番かなと思いました。』

そして昨年の年末に入籍をし、前橋に暮らし始めた望月夫妻。今度はふたりが前橋の魅力となつて、また新たな人のつながりを鈴木さんと作つていくのでしょう。

【現在】
入籍、そして念願叶って前橋へ移住

【1年後】
いよいよ移住を決意
でも、その前に…

移住を決意したふたり。入籍も控えた直前、誠さんが移住の事を両親に話していないことが発覚!理解を得るのに苦労したとか…。

「本当に信じられない!会いに行く前日に聞いてビックリしました!」

【3ヶ月後】
味噌作り体験会で
地元の人たちと交流

鈴木さんに誘われた、体験会に参加。ここで出会つた人たちに前橋の暮らしや魅力を聞き、次第に移住への想いがつのります。

【START】
群馬市ブースへ
前橋で暮らすまで

埼玉からの移住を思い立つて、すぐに行動を始めた誠さん。そこで鈴木さんとの出会いが人生を変える大きな一步でした。

移住は夢を見つける第一歩。
前橋にはそのポテンシャルがある。

望月さん夫妻が前橋で暮らすまで



「最初は、主人に『行こう』と言われて。でも参加してみたら、話す人たちが温かくて。しだいに前橋への移住に興味がわいてきました。」



周りから祝福され、入籍をし、その後に前橋に移住。仕事で辛かった一年前とは一転、笑って過ごせる日々を暮らしています。

